

会議顚末書

						記 録 者	佐加井 圭市	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課 長 補 佐	主 係	査 長	グ ル ー プ 員
件 名	令和 8 年度第 1 回龍ヶ崎市社会教育委員会議							
年 月 日	令和 8 年 7 月 1 6 日（木）							
時 間	午前 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 4 0 分							
場 所	龍ヶ崎市役所本庁舎 5 階 全員協議会室							
出 席 者	【委員】 平野浩之委員、木村忠夫委員、松田高義委員、所洋子委員、椎塚俊裕委員、海老原敏委員、浅野好紀委員、後藤敦志委員、山村尚委員、阿部雅江委員、北川滋也委員、沼田公美子委員、福岡果菜委員 【事務局】 大古教育長、清水課長、高野課長補佐、海老澤係長、油原主幹、佐加井副主幹、由利会計年度任用職員 [市立図書館指定管理者] 湯田館長 [文化会館指定管理者] 根本次長					傍 聴 人 数		0 人
事務局 (佐加井) 教育長	1 開会 2 教育長あいさつ							
事務局 (佐加井)	3 委員紹介 (委員の紹介) (事務局紹介)							
事務局 (佐加井)	4 議長の選出 議長につきましては前回に選出させていただきました後藤委員にお願いしたいと思いますがよろしいですか。 (各委員「異議なし」)							
後藤委員	5 議長あいさつ (議事録署名人として後藤議長、福岡委員を指名) (「審議会等の会議の公開に関する条例により、議事録の公開にあたり、委員各位の名前を記載してよいか聴取) (各委員「異議なし」)							

	6 議事
後藤委員	令和7年度社会教育関係事業報告について事務局より説明願います。
事務局 (由利)	(資料に基づき説明)
後藤委員	ご意見・質問等がありましたらお願いします。
椎塚委員	1頁の1、生涯学習情報の提供の中の人材バンクについてですが、様々なジャンルの方々がいらっしゃると思いますが、どのように展開されているのでしょうか。
事務局 (清水)	人材バンクにつきましては、令和5年度に一度見直しを行いまして、英語や書道など様々な分野の方々にご登録いただいております。展開方法につきましては、市民の方から特定の分野の習い事をしたいと連絡をいただいた際に、人材バンクに登録している方とをマッチングする制度になっています。
椎塚委員	わかりました。少し話が変わってしまうかもしれませんが、部活動の地域展開の文化部系にあてはまるようなことは今のところないのでしょうか。それとは別なのでしょうか。
事務局 (清水)	部活動の地域展開は、中学校の部活動を地域のクラブチーム的な団体に移行させていくもので、人材バンクは特技を持っている方が人材バンク制度に登録をして、市民の方の要望に合わせてマッチングさせるものです。
椎塚委員	運動系の部活動の地域展開は進んできていると思いますが、文化系の部活動の地域展開は全国的にも難しい状況だと聞いているので、そういったところで協力しているのかなと思い質問してみました。次に20頁のボランティア活動の推進とありますが、具体的にどのようなことをされたのですか。
事務局 (油原)	資料の18頁から20頁に記載されております、わら草履作り教室や草木染め教室、小学校見学学習支援などこういった体験教室や見学の際にボランティアの方に支援していただいているといった内容です。
椎塚委員	よくわかりました。もう一点、19頁の学芸員実習生の受入れとありますが、受け入れをした後の展開などはありますか。
事務局 (油原)	博物館法に基づき、博物館等で働くためには学芸員の資格が必要になります。その実習として各大学から依頼がありまして、教育実習と同じように1週間程度指導を行います。ですがやはり博物館で働くことは非常に狭き門でして、その資格を活用している方はあまり多くはないと思います。当館で実習をしましたが一般職として龍ヶ崎市役所で働いている方もいます。

沼田委員	1 頁、文化団体の活動支援について、文化協会所属団体へ活動補助金を交付とありますが、市のホームページの文化協会のページなどを拝見しましたが交付団体や活動の詳細が記載されていなかったのて教えてください。あわせて、文化協会の会報誌も最新刊だけではなくバックナンバーも掲載するのはどうですか。
事務局 (清水)	文化団体の活動支援についてですが、こちらは例えば文化協会に所属している各団体がサプラ等で開催する絵画や写真の展示会の費用の補助になります。
事務局 (由利)	会報誌につきましては、バックナンバーは文化・生涯学習課でおおむね5年分は保管しています。以前は各コミュニティセンターなどにも配布していましたが、印刷製本費の高騰などもあり発行部数が減っていることから会員の方を中心に配布させていただいている状況です。
沼田委員	紙だと見る人が限られてしまうので、文化団体を今後も増やしていきたいと考えていると思うので、ネット上で検索して出てくるようにしておくことで活動内容を周知できるのではないかと思います。
事務局 (清水)	今後、若い世代を取り込んでいくために SNS やホームページも活用していく必要があるとも考えております。貴重なご意見ありがとうございます。
山村委員	3 頁の食育講座についてですが、RINK キッチンスタジオといったすばらしい施設で行っているようですが、それとは別で市民交流プラザで食育の講座を行っているということを一般の方から聞きました。そちらとの連携は行っているのですか。
事務局 (高野)	市民交流プラザで行われている食育講座との連携は行っていません。
山村委員	市民交流プラザには畑があり、そこで収穫した物を調理するといった RINK で実施している食育講座とはまた違った視点からの食育を行っていると思います。ですから、そういった所と連携していけるといいのかなと思います。次に6 頁のコミュニティ・スクールについてです。モデル校が馴柴小学校・中根台中学校となっていますが、現在の状況と成果を教えてください。
事務局 (海老澤)	馴柴小学校では、「放課後の子どもたちの居場所」について課題があり、学校運営協議会で話し合いを行い、昨年度の冬から地域の方が主体で学校の校庭開放といった活動を行っています。中根台中学校での地域学校協働活動の一例としては、学校運営協議会の委員の方が学校の行事や、身体測定の記録の手伝いなどの具体的な活動も伺っています。今年度は龍ヶ崎中学校区で導入しまして、8 月には2 回目の熟議があり、そこで校長の示すグランドデザインの中から困り感があつたテーマを決め、皆さんで何ができるかを話し合うような段階にあります。印象としましては、非常に多面的な意見が出ていて、地域の中でも何かできることはないかと協力をいただいている状況です。

山村委員	やはりコミュニティ・スクールは地域の方と学校が連携・協力し合ってその中で地域の方からの学校への関心を高めて、意見を吸い上げることが重要だと思っています。聞いたところ状況は良いと思いますので、地域の方の意見を聞きながらアイデアを出して次の取組みを進めていただきたいと思います。次に7頁の部活動の地域展開についてですが、休日の運動部活動を行っていますがそれ以外で平日の活動や文化部活動はどのような状況ですか。
事務局 (海老澤)	平日に関しましては種目によっては活動できているものがあります。その中でも、中学校体育連盟に登録できる種目、具体的には野球・サッカー・陸上などの種目は地域クラブの方で柔軟に対応していて、学校の部活動の適正化を図ることができている状況です。文化部についても、地域連携という形で中学校に地域の指導者を派遣して顧問の負担を軽減させるよう動いております。今週末に開催される県南吹奏楽コンクールでは、地域の方が選曲や指揮をしている学校もあるといった報告を受けています。また、当市の文化協会や音楽協会に協力していただいて、陶芸クラブに所属している生徒やスワンオーケストラに在籍している生徒もいて、その方からお話を聞くと、「学校では習うことができない弦楽器を習うことができる。また、親子で入会したため親子で一緒に楽器を演奏する機会ができてよかった」ということで学校部活動にはない新しい価値が見出されているような状況です。
山村委員	とても良い状況だと思います。もう一点、20頁のボランティア活動の推進について、若い世代のボランティア参画という側面でのボランティア活動の推進は行っていないのですか。
事務局 (油原)	やはり歴史や民俗ですと参加されるかたは高齢の方がメインになっています。こういった博物館では若い世代をどのように呼び込むかも課題になっていて、打開策を考えていますがなかなか打開できていないのが実情です。
山村委員	他の自治体に視察に行きましたが、やはり元気な自治体は学校が連携して活発に動いているところが多いです。若い方たちはいろいろなアイデアを持っていてどんどん引っ張っていく力があるので、歴史民俗資料館の今後のことも考えると、学校等と連携するということにも力を注いでほしいと思います。
事務局 (清水)	歴史民俗資料館では毎年、市内の小学校3年生が展示見学や体験学習をしに来館していてとても勉強になっている様子です。その際に、ボランティアの方々と接することもあると思います。そういったこともあり、今お話しいただいた内容も含めてこれからの課題として考えていきます。
北川委員	2頁の6 読書・学習環境の充実についてですが、図書館の緊急修繕が2件ありますが、予定外の修繕だと思いますがどのような内容ですか。
事務局 (清水)	こちらは定期点検等を実施している上で、緊急で修繕が必要になってしまった設備の修繕になります。空調関係や自動ドアなどはおおむね15年から20年で交換する

	ものでして、今回行った緊急修繕は交換から20年程経過していたものでした。今後こういったメンテナンスが必要となりますので、計画的に対応していきます。
北川委員	建物の躯体的な問題から発生している不具合ではないということでしょうか。
事務局 (清水)	はい、躯体の問題ではありません。建築から40年程経っていますが、定期的に点検等を実施してその上で今後5年間の改修工事などの計画として中期事業計画を策定し、メンテナンスを行っています。
北川委員	建築から長期間経った建物はどうしても安全性の面で不安なところがありますが、そのお話を聞いて安心いたしました。次に6頁の14子どもの健全育成事業についてです。子ども会では大変良い事業がたくさん行われているという印象を持っていますが、これは子ども会に参加している児童が参加対象であり、子ども会のない地域の児童は参加できないのでしょうか。
事務局 (高野)	地区ごとに子ども会が形成されているところが多い現状ですが、子ども会がない地区の児童に関しましては、子ども会育成連合会に本部付けといった形で各個人ごとに登録をしていただくことでイベントに参加できます。昨年度は試験的に運用し、今年度からは本格運用している状況です。告知についてはスクリレなどで行っています。
北川委員	特に宿泊学習やサマーキャンプのようなイベントは他の学校の子供達と交流ができる非常に良い機会だと思いますので、先ほど伺った本部への登録ができるということをもっと広めて、もっと大きな規模の交流になればいいなと思いました。
事務局 (清水)	ご意見ありがとうございます。先日、6頁に記載のあるチャレンジ・デイ・キャンプを今年度も実施しまして、市内の小学校から約60人の児童が参加しました。皆さんとても楽しかったということで満足していただきました。また引き続き、子ども会育成連合会と相談し、継続していこうと考えております。
北川委員	続いて8頁の中央図書館についてです。資料の充実ということで5,651冊の購入(内AV30点)とありますが、所蔵庫の問題で処分している本もたくさんあると思いますが、昨年度は何冊処分をしたのでしょうか。
事務局 (湯田)	令和7年度の処分数、いわゆる除籍と言いますが、除籍した資料は8,059冊となっております。
北川委員	つまり、約3,000冊減っているということでしょうね。所蔵庫の課題を解決すれば、少しはそういったことを減らすことができるのではないかと思いますので、ぜひこのあたりもご検討いただきたいと思います。
事務局 (清水)	以前より、本棚を購入するために指定管理者と協議を進めています。そちらも含めて、今年度の中期事業計画や予算組みの際に検討してまいりたいと考えております。

北川委員	ありがとうございます。これは歴史文化といった観点から考えるとやはり必要なものではないかなと思いますので、ぜひご検討いただきたいです。
後藤委員	1点質問させてください。10頁に、リサイクルブックを8,829冊提供したと記載されていますが、令和7年度の除籍は8,059冊ということで770冊の差があります。これは令和6年度以前に書籍したものも含めて提供しているということでしょうか。
事務局 (湯田)	おっしゃる通りです。令和6年度以前に除籍した物も含まれております。
阿部委員	部活動の地域展開について質問です。順調にスタートしているということを伺っています。以前もお話ししましたが、部活動をするにもお金がかかるようになったことや、送迎の問題等も加わってきていると思います。そういった面から、部活動に参加できない生徒はどのくらいいるのでしょうか。
事務局 (海老澤)	部活の地域展開を進めていくと保護者の送迎、それから会費といったことはこれまでの部活動とは違うということで、デメリットが課題としてあげられることがあります。本市の状況で言いますと、まず部活動の運動部の加入率が年度ごとに減ってきています。これは少子化の影響もありますし、生徒たちが入りたい部活動の種目が学校にないといった声もあります。今年度の5月30日時点での教育総務課の調べだと56～60%が運動で文化部が12～13%で、文化部の美術部と吹奏楽部これまではあまり変わらない推移になっています。やはり運動部の方が10年前、20年前からどんどん加入率が減っている状況になります。部活動に入っていない生徒たちは何もしていない子もいる一方でクラブチームに加入する、本当に自分がやりたい種目を選ぶといった選択肢がしっかりあります。ですから、運動部に入っていないから悪いといった状況ではなく、本当にやりたい選択肢を選ぶことができていたといった状況になっていると考えています。運動系の部活動部員は今年度5月30日時点で、市内の中学生1・2年生約580人が在籍しています。休日に活動している地域クラブの方は直営型200人、既存団体型200人で約400人が活動しています。地域クラブの方は中学校3年生も含まれるので、先ほどの運動部員数をそのまま比べることは少し違いますが、始めた半年前は運動部の約6割が地域クラブに入っていました。現在は加入率がさらに上がってきている状況です。理由としましては、移動や送迎の問題はあるものの、種目によって活動場所を市内の中心にある中学校に設定したりですとか、普段活動する会場が中体連の試合を行う会場であったり、スタジアムやフィールドといった市内でもハード面が優れた施設であったり、空調設備の整った場所であったり、移動しなければならないというデメリットがありますが、移動した先にこれまでなかった付加価値があることで参加率が上がっているのではないかと考えています。また会費についてもよく話題にあがりますが、国の方では休日で約3千円という数字を出していますが、本市は直営に関しては月3回、休日3時間、千円で運営しています。また、困窮世帯に関しましては、直営型は会費の免除制度もありますので、そういったことも地域クラブの加入率増加の要因と考えております。種目に

	もよりますが、やはり送迎が課題となる場合もありますので移動できる種目は、例えば1週目は中根台中学校、2週目は城ノ内中学校というように開催場所もローテーションを行って保護者の負担を軽減するような取組みや、生徒数が多い種目では暑さ対策なども兼ねて2部制で実施するなどといった対策をすることで、生徒や保護者のニーズに合わせて流動的に運営を行っています。
阿部委員	体力テストの結果が落ちてきているというデータもありますので、そういう面では部活動は大事なものではないかなと感じるところです。次に6頁の13番についてです。コロナ禍を挟んで今は学校の情報がなかなか入ってこない状況です。昨今の個人情報等の問題もあり、情報をホームページにも公開しにくいと思いますが、いろいろと地域で協議していくにあたって、やはり学校の実情が見えないというのはちょっとおかしいかなと思います。私は馴馬台小学校に食育活動を通じて深く関わっていますが、自分の住んでいる地域のことが全然見えてこないです。
事務局 (海老澤)	コロナ禍を挟んで学校の情報がなかなか入ってこないですとか、最近の個人情報取り扱いの問題などいろいろな面で課題があり、学校への敷居が高いといった声が聞こえてきています。ただ、コミュニティ・スクールを導入していくにあたり、馴柴小学校の例をあげますと、まちづくり協議会に校長先生が何度か訪問して情報共有を行う、コミュニティセンターに行き情報共有する、ホームページに情報を上げるなどを行っています。最近は口コミでの情報が多いと私は感じております。先日も馴柴小学校で家庭科のミシンのサポーターとして更生保護女性会の方にご協力していただいています。そういったことも口コミでどんどん地域が繋がっていくというイメージがありますので、自分の方もコーディネーター的な立ち位置で学校のニーズを聞き、地域の人でこんなことができますというような話を伺いながらマッチングして、少しずつそういったところで情報を広げていけたらいいと考えています。
阿部委員	情報を得るために現在は電子媒体が多いと思いますが、紙媒体もあってほしいという人も結構いると思います。ですから、そちらについてももう少し考えていただきたいと思っています。次に3頁の9番についてです。食育講座は高い講師料を払っていると思いますが、参加した保護者が6名しかいないことが腑に落ちないと思いました。メニューを見させていただくと、作るのが少し難しいものではないかなと思いました。また、RINKは使用料が高く、他のボランティアが使うと場所代だけでお金がかかってしまいますが、私たちが普段食育活動を行っているコミセンは在籍していれば無料で使うことができるので学校と連携して実施しています。広く市民に伝える、お母さんたちに広く周知していくということを考えていただきたいと思っています。やはり食べることは人間としての基本ですし、そのことを疎かにしてはいけません。きちんと食べるということを幼い頃から教えることが大切です。自分たちの活動のPRになってしまいますが馴馬台小学校は5年生全員と一緒に協力してくださっています。その協力を得ながら食べることを基本にすること、そこで経験したことが次に繋がっていくので、私たちが今ボランティア活動を行っている団体はそういったことを進めていきたいと考えております。

事務局 (海老澤)	RINK での食育講座の定員は18人でしたが、参加者は6人でしたので非常に寂しかった記憶があります。メニューについては、講師の三好様が龍ヶ崎トマトを使いたいという希望もありレシピを作成していただきました。簡単な朝食づくりと書いてありますが、少し難しかったという課題がございました。今年度は給食試食会を2回実施しまして、非常に好評でこちらでも栄養教諭の先生から食育講座を受けております。また秋以降もそういった講座を実施できればと、給食センターと協議をしています。また、食育に限らず家庭教育全般の内容で言いますと、各小学校の1年生の保護者が学校に来る授業参観や親子レクといった機会に、家庭教育指導員の福岡と私が現場に行き、県からのチラシを配りながらミニ講座を開くといったアウトリーチ型も始めています。そこで先日は松葉小学校の1年生の親子給食会に我々が行き、食育も含めて家庭教育の講演を短い時間ですが実施しました。このようにアウトリーチ型をすることで1年生の保護者と繋がる機会が増え、県からのチラシも全保護者に配るように動いている状況で、今後はそういった機会を利用して食育を含めて、家庭教育にも力を入れていきたいと考えています。
沼田委員	5頁の家庭教育指導員による指導体制の充実についてです。個別の相談として面談が2回、電話が2回とありますが、これは保護者が相談ごとがある際に直接電話をするということでしょうか。例えば、市のLINEなどでも可能なのでしょうか。
事務局 (海老澤)	こちらの対応は家庭教育指導員がメインになりますが、メールでのお問い合わせも可能です。文化・生涯学習課に限らず教育センターなど様々な窓口がありまして、その相談の内容に応じて各課へ繋ぐといった対応をさせていただいております。就学時健康診断の際にチラシを配布したり、ブースを設けてお話をさせてもらったりしていますが、やはり市の職員に電話をするのはハードルが高いのではないかとといった意見もあるため、そこのハードルが下がるような努力をしていきたいと考えています。
沼田委員	今はLINEやSNS等で相談できる方が敷居が下がるのではないかと思います。また、もう少しいろいろなアプローチの仕方があると思います。先ほどご説明いただいた授業参観の際に行くなどといったことはとてもいいと思います。普段働いていてお仕事を休んで行くのが難しい保護者もいて、都合がつかない場合があるので、昼間の時間以外にも相談しやすい方法を考えたいと思い意見させていただきました。
海老原委員	8頁の1の①図書資料の充実についてです。5,651冊購入(内AV30点)とありますが、AVとは何の略なのでしょうか。
事務局 (湯田)	いわゆる視聴覚資料、CDやDVDをAVと表しております。正式にはオーディオビジュアルの略です。
平野委員	馴馬台小学校の平野です。食育やコミュニティ・スクールが話題が出たので、実際に小学校でどのようにして進めているのかをお話したいと思います。中根台中学校区ということで、久保台小学校・馴馬台小学校・中根台中学校の3校で話し合いをしています。地域の方々、ボランティアの方々がとても協力的で、積極的に参加して学校

	に尽くしてくれています。主に家庭科の授業で裁縫やミシン、生活科の授業、防災訓練、学校行事、あと先ほど阿部委員がおっしゃっていた食育の実習授業など本当に幅広く様々なことで協力していただいています。そういったこともやはり皆さんにも知ってもらいたいと思い、ホームページ、紙媒体、回覧板などを利用して皆さんに宣伝をして、もっと学校を知ってもらって地域と連携を図っていただけたらいいなと考えています。皆さん協力的で本当に助かっています。ありがとうございます。
阿部委員	その食育の実習については、小学校5年生を中心に魚まるごと体験というものを行っています。東京水産振興会から補助金をいただいたりして実施している事業です。この前は龍西コミセンで実施しました。魚をあまり食べないような子たちが魚を自分で捌くということで子どもたちには感動的な場面もあります。馴柴小学校につきましては、以前は馴馬台コミセンで実施させていただきましたが、協議会の方からの後押しもあり、5年生の総合的な学習の時間を使わせていただいております。保護者の方それから地域の協議会の方からも賛同を頂いて私たちもそれを糧に頑張っています。
北川委員	5頁の子育てふれあいセミナーについてですが、大変素晴らしいと思いますが、やはり家庭と学校の連携ということを考えますと、働いていてなかなか参加できない保護者の方にどう伝えるかというのは大きな課題になっていると思います。そういったことから学校に出向いたと思うのですが、今年の1月か2月に県の教育委員会のサイトに家庭と学校の連携についての講座が見られるアーカイブが1ヵ月ほどありました。ITインターネットの問題であるとか、性教育の問題であるとか家庭と学校が共有しておくべき題材が結構ありました。ですから、授業参観などに出向くことも本当に素晴らしいのですが、それに加えて後で視聴できるアーカイブのようなものも合わせてご検討いただければと思います。
事務局 (海老澤)	以前、子育てふれあいセミナーの参集型の講座を配信したという経緯もございました。やはり忙しい保護者がなかなか参加できないといった実態もあり、私もそういったものができればいいなということで考えてはいますが、県の家庭教育応援ナビというサイトに非常に充実したコンテンツがありまして、そこにアーカイブされた動画があり、そういったものが載ったチラシを各家庭に配布していますので、ぜひそちらのサイトと家庭教育推進室の資料を見てくださいという案内をしている状況です。またそのテーマが性教育だったのですが、この分野についての家庭教育を行っている自治体はほとんどないです。ですが今年の教育の日推進事業で性教育をテーマにした講座を設けようと動いておりまして、学校教育でも担任によっては難しい分野だと思いますが、あえてそういった分野に我々の講座を設けるということで、どれぐらいの方が集まるかはわかりませんが準備段階に入っております。
北川委員	県の家庭教育応援ナビの方に充実したコンテンツがあるとのことですが、保護者の方々に届くようなPRといいですか、どの講座を見るといいかわかるようにしていただけると良いと思います。ありがとうございます。

